



今回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
市情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

「患者さんと病院の橋渡し役をしています」

彦根市立病院ボランティア 所 美幸さん

7月1日、新しい市立病院で診療が始まりました。たくさんのお患者さんを効率よく診療するため、「オーダーリングシステム」という最新の仕組みが導入されました。

「自動再来受付機」という機械を使った、新しいシステムに慣れていない患者さんたちのために、私たちボランティアが操作方法を説明して、円滑な受診の手助けをしています。

開院当初は、医師、看護師をはじめみんなが不慣れで、患者さんにご迷惑をかけたのではないでしょう。私たちボランティアが代わって苦情や意見を受けることもよくありました。そ

うしたことは、そのつど病院の担当者に伝えるようにしています。いろいろな提案によって、開院以来多くのことが改善されました。

ボランティアは全部で20人ほど。新病院に不慣れな人のために院内全般の案内や、車いすの介助もさせていただきます。私は週に1回、8時間ほどですが、毎日来ている人もいます。ずっと立っているのです、肉体的にも疲れます。

しかし、人との出会いを求めて始めたボランティアです。これからも、病院と患者さんの間で、新しい病院をよりよいものにしていくお手伝いをしていきたいと思っています。

所さん

▼自動再来受付機の操作方法を来院者に説明する所さん



▼2学期になっても、3年生を含めて熱心な練習が続きます



右から副部長・陣子壺
司さん、吉田さん、副
部長・堀居麻美さん
(いずれも3年)

「楽しく演奏したいと思っています」

南中学校吹奏楽部 部長 吉田麻美さん

8月2日に大津市民会館で開催された「第36回滋賀県吹奏楽コンクール」で、南中学校吹奏楽部は金賞を受賞しました。私たちが出場した大

編成の部には46校が出場しましたが、金賞は3校だけ。南中の金賞受賞は、3年連続です。

自由曲として演奏したのは、「斑鳩の空」。作者の榎田てつ之扶先生は、部員みんなが大好きな作曲家で、お住まいの京都から彦根にお招きして直接指導していただいたほどです。

吹奏楽部は部員数61人。コンクールに出場できるのは50人以下なので、なかなかステージに立てない人もいますが、全員で心を合わせて練習を続けています。

7月27日には、中部日本吹奏楽コンクールにも出場し、こちらは7校の中で本大会に出場する1校に選ばれました。10月13日には、長野県伊那市で開かれる本大会に臨みます。部員みんな、南中生らしく、楽しく演奏していきたいと思っています。